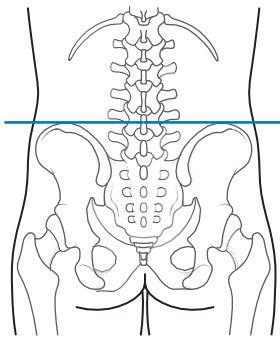


正 誤 表

「柔道整復学・理論編」(第6版第1刷)

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	行, 箇所	誤	正
20	↓8	...線維の進展性向上や...	...線維の粘弾性向上や...
60	↓5	... (肩関節や膝蓋骨にみられる...	... (肩関節や膝蓋大腿関節にみられる...
210	図 1-4・3	図差し替え 	
211	↑3	...に働く脊柱起立筋 (図 1-4・5) や, 内外寛骨筋群の...	...に働く脊柱起立筋群 (図 1-4・5) や, 内・外寛骨筋群の...
212	↓4	...梨状筋 (図 1-4・7) は, 腸腰筋, 中小殿筋, 上双子筋...	...梨状筋 (図 1-4・7) は, 中・小殿筋, 上双子筋...
213	↑2	...合併することはないが,合併することは少ないが, ...
293	↓3	(2) 角状の変形癒合	(2) 変形癒合による角状変形
353	↑5	股関節最大伸展位から股・膝両関節の屈曲が同時に起こった場合に縫工筋, 大腿筋膜張筋の牽引により発生する (短距離走のスタート時など).	股関節伸展と体幹の伸展が同時に起こった場合 (短距離走のスタート, 走り幅跳び時など) に縫工筋, 大腿筋膜張筋の牽引により発生する.
427	↑1	...本書では, オリジナルの通り内果の骨折に加えて...	...本書では. 腓骨外果骨折, 脛骨内果骨折に加えて...